

RIMS 共同研究 (公開型) **関数空間論とその周辺**

京都大学数理解析研究所の共同研究事業の一つとして、下記のように研究集会を催しますので、ご参加頂きますようご案内申し上げます。

研究代表者 大和田智義 (静岡大学教育学部)
松岡 勝男 (日本大学経済学部)

記

日時：2023年2月13日(月) 10:00～2月15日(水) 12:00

場所：京都大学数理解析研究所 4階 420号室

(対面および Zoom 配信併用のハイブリッド開催)

京都市左京区北白川追分町

市バス 京大農学部前 または 北白川 下車

以下のリンクより研究集会用の事前参加登録を行うと Zoom の ID 等が送信されます。
参加登録リンク：[ここをクリック](#)してください。

プログラム

が付いている講演は、RIMS 会場にて板書で行い、その様子を Zoom で中継いたします。

2月13日(月)

10:00–10:05 開会の挨拶

10:05–10:30 川村 一宏 (筑波大学)

“pseudo-solenoid 上の行列 C^* 環の K 群による分類”

10:40–11:05 # 近藤 恵夢 (奈良女子大学), 森藤 紳哉 (奈良女子大学)

“非増加関数に対する重み付きハーディ型不等式について”

11:20–12:10 相川 弘明 (中部大学)

“複雑領域のポテンシャル解析 (I)”

13:35–14:00 青山 耕治 (千葉大学)

“吸引点に関する収束定理”

14:10–14:35 木村 泰紀 (東邦大学)

“測地距離空間における不動点近似点列の生成法とその収束性”

14:50–15:15 河邊 淳 (信州大学)

“非加法的測度が定める Lorentz 空間の完備性”

15:25–15:50 水田 義弘 (広島大学名誉教授)

“Vanishing integrability for Riesz potentials”

16:05–16:55 # 廣島 文生 (九州大学)

“ヒルベルト空間の命名とその後～フォン・ノイマンの時代～”

2月14日(火)

- 9:30–9:55 松下 慎也 (秋田県立大学)
“作用素分割法とその応用”
- 10:05–10:30 厚芝 幸子 (東京女子大学)
“Convergence theorems for families of monotone Lipschitzian Mappings in ordered Banach spaces”
- 10:40–11:05 瀬尾 祐貴 (大阪教育大学)
“ゴールデントンプソンの不等式を巡って”
- 11:20–12:10 # 廣島 文生 (九州大学)
“場の量子論における正值性
～シュレディンガー表現とフォック表現～ (I)”
- 13:35–14:00 三谷 健一 (岡山県立大学), 斎藤 吉助 (新潟大学名誉教授),
小室 直人 (北海道教育大学)
“On skewness and geometrical constants of Banach spaces”
- 14:10–14:35 # 横田 智巳 (東京理科大学)
“Finite-time blow-up of weak solutions to a degenerate chemotaxis system with logistic source”
- 14:50–15:15 # 三沢 正史 (熊本大学)
“ソボレフ流と二重非線形放物型方程式について”
- 15:25–15:50 # 藤井 正俊 (大阪教育大学)
“正作用素に対するノルムによる算術幾何平均不等式”
- 16:05–16:55 相川 弘明 (中部大学)
“複雑領域のポテンシャル解析 (II)”

2月15日(水)

- 9:05–9:30 澤野 嘉宏 (中央大学)
“Applications of the class $Aloc$ ”
- 9:40–10:05 小室 直人 (北海道教育大学), 三谷 健一 (岡山県立大学),
岡崎 知之 (旭川北高等学校)
“Geometrical constants of 2-dimensional spaces with extreme norms in AN_2 ”
- 10:15–11:00 # 廣島 文生 (九州大学)
“場の量子論における正值性
～シュレディンガー表現とフォック表現～ (II)”
- 11:10–11:55 相川 弘明 (中部大学)
“複雑領域のポテンシャル解析 (III)”
- 11:55–12:00 閉会の挨拶